

## 2 日目：復興支援ボランティア

2 日目は、大槌町内での復興支援ボランティアです。午前中は参加者全員で海岸清掃に汗を流した後、防災士養成講座をはさみ、午後は四つのグループ（林業、農業 A、農業 B、備蓄）に分かれてボランティア先に向かいます。この日、大槌の気温は今夏最高の 37.9 度、外に立っているだけで汗が噴き出す中、参加者は懸命に作業していました。

### 復興支援ボランティア 海岸清掃

吉里吉里海岸

合同防災キャンプ 2 日目、朝から気温 30 度を超える暑さの中、吉里吉里海岸に向かいました。両側を岬に囲まれた砂浜です。津波により大量の瓦れきが漂着し、やむなく 3 年程閉鎖されましたが、全国のボランティアの力も得て再開を果たしました。今年も 2 日前まで多くの人でにぎわったという、この海水浴場の清掃ボランティアを、参加者全員で行いました。

ごみ拾いの注意点や海岸の被災状況を伺った後、海岸いっぱいになり、清掃を始めます。砂に埋まった網を数人がかりで掘り出したり、二人でようやく抱えられる大きなごみを回収してきたりと、奮闘しました。

汗みずくになって懸命に集めた大量のごみを見て、達成感、そして仲間との結束を実感していました。



#### 社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会 総務課地域福祉係 主事 渡辺 賢也氏

海岸では清掃のみならず、津波で曲がった街路灯など、震災の痕跡を見ただけだったことも、よかったと思います。

短時間でこれだけのごみを拾ったばかり、人的パワーのすごさを実感しました。今度はぜひ砂浜を裸足で走ったり、海に入って楽しんでいただきたいと思います。



#### 吉里吉里地区復興協議会 副会長 芳賀 守氏

今日は暑い中を一生懸命に清掃していただき、感謝しています。地元の間人は、この白い砂浜に深い愛着をもっています。新防潮堤も、砂浜が失われないよう、地権者の協力を得て、陸寄りに建設することになりました。ぜひこのまま守り残したいと思っています。



## 防災士養成講座 [7]

大槌町中央公民館

## 「災害とボランティア活動」

講師／社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会 総務課地域福祉係 主事 渡辺 賢也氏

海岸清掃で汗を流した後、参加者は高台にある大槌町中央公民館に向かいました。海岸清掃の指導をしてくださった大槌町社会福祉協議会（以下「社協」という。）の渡辺氏のお話を伺いました。

社協の業務は、介護施設サービスなど多岐にわたります。震災後は新たに災害ボランティアセンター（以下「センター」という。）の運営なども加わり、職員は震災前の50人程度から現在は100人超に増えていますが、それでも町の甚大な被害に対し、不足している状況です。

生活支援サービスも重要度を増しました。仮設住宅入居者の対応です。今なお200人が暮らす仮設住宅では、近所の方と離れ離れになり孤独を深めがちの方々が多くいます。そのような方を巡回訪問し、声を掛け相談に乗ることは、命を守る大切な仕事だと渡辺氏は語ります。

続いて、センター設立時の経緯が語られました。社協では津波で事務所を流され、幹部数名も犠牲となりました。渡辺氏も津波にのまれ、九死に一生を得ます。そうして残った職員も自身が避難所生活を送る被災者という、単体での地域支援はとても不可能な状況でした。

全国からのボランティアが続々と集う中、応援に駆け付けてくれたのは、東海ブロック社協（名古屋市・岐阜県・三重県・長野県）の職員たちでした。彼らの協力の元、社協内にセンターが立ち上げられます。

渡辺氏もセンター発足から携わり、ボランティアの受け入れ業務に当たりました。その数は、把握しているだけで8,562団体、79,888名（平成30年7月20日現在）にも上ります。

参加者がボランティア清掃をした吉里吉里海岸でも、



清掃プロジェクトが実施されました。瓦れきをただ除去するだけでなく、更に砂浜を深く掘り下げ、砂をすくってふるいに掛け、小さなごみまで取るという地道な作業を、半年間毎日続けたといえます。

そうした体験を通じて渡辺氏が訴えるのは、NPOやNGO、他社協など「官と民、民と民」の「連携」が必要だということでした。震災後のボランティアはもちろん、社協スタッフの応援が本当にありがたく、それがなければ今日の復興はなかった、との思いからです。全国的に大規模な災害が頻発している今、何かあれば今度は自分たちが助けに行く、と渡辺氏たちは決意しています。7月の西日本豪雨では社協にも応援要請があり、9月には現地へ赴く予定とのことでした。

「防災士を目指す皆さんも、ぜひ率先して行動を起こしてほしい。次世代を担う皆さんの力に期待している。」、そう力強く語り掛ける姿に、参加者は実体験のもつ重みと、自分たちの使命の重みを、改めて感じているようでした。

